

(参考様式1)

人・農地プラン (五本松地域)

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回)	更新年月(2回)	更新年月(3回)
鳥取市	五本松 (気高町殿、飯里の各一部) (青谷町河原、蔵内の各一部)	平成29年11月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	構成員 (従業員)	後継者 の有無	現状 [平成29年度]		計画 [平成34年度]		農地中 間管理 機構か らの借り 入れ希 望の有 無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組 年度	活用が見込まれる施策			備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				青年就 業給付 金(開 始型)	スー パー の 資金の 貸付 指重	経営体 育成 事業	
認識	(A氏)	51才	(3)名	—	梨	1.72 ha	梨	1.72 ha							
認識	(B氏)	66才	(2)名	—	梨	1.35 ha	梨	1.35 ha							
	(C氏)	67才	(2)名	—	梨	1.92 ha	梨	1.92 ha							
認識	(D氏)	60才	(3)名	—	梨	1.50 ha	梨	1.50 ha							
認識	(E氏)	45才	(1)名	有	梨	0.00 ha	梨	1.12 ha	○						
	(F氏)	60才	(1)名		梨 スイカ	1.46 ha 1.20 ha	梨 スイカ	1.46 ha 1.20 ha							
	(G氏)	57才	(2)名	—	梨	1.12 ha	梨 野菜	1.62 ha 0.34 ha							
	合計(7)				梨 スイカ 梨	10.27 ha	梨 スイカ 梨 野菜	12.23 ha							

【記載上の注意】

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	構成員 (従業員)	後継者 の有無	現状 【平成29年度】		計画 【平成34年度】		農地中 間管理 機構か らの借り 入れ希 望の有 無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組 年度	活用が見込まれる施策			備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			青年就 業給付 金(開 始型)	パー ー 資金の 貸付 措置	経営体 育成支 援事業 (その他)	

※「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や得来こう
した役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認した上で、地域の中心と
なる経営体として位置づけます。

※「属性」には、認定農業者は「認定」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「新就」、認定意向農家は「志向」と記載します。

※「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段「活活き」で組織経営体の代表者名を記載します。

※「集落営農の構成員」については、その全ての認定農業者の「認：氏名」を記載します。

※「計画欄」については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ。)

※「新規就農・6次産業化・・・」等の取組については、経営発展のために今後取り組むとすることを内容に合致する取組を選択し記載します。

※「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金(経営資源有効活用対策事業)、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載しま
す。

※「備考」には、活用する県単知事事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

2.1 から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている／担い手はいるが十分ではない／担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散・離脱を解消する	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○
耕作放棄地を解消する	○
その他[右欄に自由に記載]	

4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散・離脱を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
その他[右欄に自由に記載]	

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

[国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集積・地域で使用する場合は匿名とすることができます。]

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状		計画		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	農地中間管理機構		備考
		[平成29年度]経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	[平成34年度]経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)			農地面積	貸付時期	
ア	73才	梨	1.12 ha	梨	0.00 ha	1.12 ha	○	1.12 ha	30.4	
イ	58才	梨 野菜	0.50 ha 0.30 ha	梨 野菜	0.00 ha 0.00 ha	0.80 ha	○	0.80 ha	30.12	
				水稻 野菜		ha ha		ha		
				水稻 野菜		ha ha		ha		

6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)

取組事項	対応	
生産品目の明確化		<p>高齢化が進み、耕作放棄地となりそうな果樹園を研修生へ第三者継承し、荒廃地に圃止めをかけ、近い将来円滑な農業経営を行うためには農業用揚水施設を改修し、五本松地域の農地の維持継続に努める。 また、新規就農の促進に取り組むことで、担い手の確保に努めるとともに、複合化、6次産業化や高付加価値化に取り組むことにより農業経営の安定化に努める。</p>
複 合 化	○	
6 次 産 業 化	○	
高 付 加 価 値 化	○	
新 規 就 農 の 促 進	○	
その他【低コスト化】		
コメント		

別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地

近い将来農地の出し手となる者(氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、地字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			農地の継承面積	貸付及び継承等の予定年度	農地中間管理機構への貸付を予定
				貸付	作業委託	売渡			
ア	1	畑	青谷町河原	1167	8,055			H30	○
	2	畑	青谷町河原	1172	3,157			H30	○
	3	畑	青谷町河原	1166	8,429			H30	○
計					19,641				

【記載上の注意】

- ※ 「5. 近い将来農地の出し手となる者」ことに記載します。
 - ※ 国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。
- ※ 農地利用図の添付は必須ではありません。